

バス停からの 小さな旅



文化の森スタッフが、あい愛バスを使った小さな旅を紹介します。

30 「平古市公民館(ほたる線)」から 薬師堂と石幢を訪ねる旅



▲参道で存在感を放つ石幢

三和町川浦にある薬師堂の付近には、数多くの石造物が点在しています。中でもひときわ目を引くのが、参道の途中にある灯籠形の石造物。「石幢」と呼ばれるこの石造物は、貞享元(1684)年に造立され、人の背丈を超える大きさで、火をともし部分には六地藏(六道の思想に基づき人々を救う6体の地藏)が表されています。石幢は近世以降、東濃地域で多く造立されたものの、中濃地域では非常に少なく、時代的にも貴重なものです。

また、本堂脇の厨子の中には、延宝9(1681)年に作られた市内最古の石像薬師仏がまつられています。

この場所は、以前は引導場と呼ばれる共同墓地であったと考えられ、石幢をはじめとする石造物は、死者の冥福を祈り、供養するために造られたものでしょう。6体の地藏は妙鉢(葬儀で使われる楽器やお鈴などの仏具を持ち、柔らかな表情をたたえています。古くからこの一帯は地域の人々の大切な祈りの場であり、心のよりどころだったのです。

【参考】市教育委員会「美濃加茂の石仏(1988)」

文化の森 ☎ 28・1110



▲トタン造りの薬師堂。
右奥にも石仏が見える



今回乗車したバス

行き…ほたる線

Aコース3便

帰り…ほたる線

Bコース4便

09時21分 美濃太田駅北口

10時00分 平古市公民館

下車後、道を北へ進み、

石垣のある道に入る。

石垣の途中に作られた

階段を登り、周辺の石

造物と薬師堂に出会う。

11時39分 平古市公民館

12時18分 美濃太田駅北口